

EV充電ネットワークサービスの構築に向けた実証実験の実施

2023年2月1日

関西電力株式会社

株式会社エネゲート

関電不動産開発株式会社

関電ファシリティーズ株式会社

関西電力グループ^{※1}は、2023年2月から3月下旬まで、EVおよび充電器の導入を検討するパートナー企業^{※2}と連携し、EV充電ネットワークサービスの構築に向けた実証実験を実施します。

本実証では、EV充電スポットを有するパートナー企業等から、大阪府内を中心に既設の急速充電器および普通充電器をシェアリングとして提供いただきます。加えて、パートナー企業には住友三井オートサービスグループからEVを貸し出し、営業車両等として利用するユーザーは事前予約することで、当該EV充電スポットを使用することが可能です。

急速充電器および普通充電器を組み合わせたシェアリングの実証は全国初の取り組みです。実証を通じて、パートナー企業はEVの利用実態や、充電器の使用頻度等の検証を行い、EVの運用・充電計画の作成、充電器の導入にかかるコストダウンの検討等に活用します。

また、関西電力グループが実証における走行距離や充電器の稼働率等のデータ分析を行います。それらの結果を踏まえて、関西電力は、EV充電サービスのサービスプラットフォームを開発します。法人間での充電器のシェアリングサービスに加えて、関西電力グループの所有地等を充電スポットとして提供する他、商業施設や飲食店等とも連携し、充電と多様なサービスを組み合わせることで提供することにより、シェアリングサービスをご利用いただくお客さまの付加価値向上を目指します。さらに将来的には、法人のお客さまの一部充電スポットを一般のEVユーザーが利用できるシェアリングサービスも検討します。

関西電力グループおよびパートナー企業は、本実証を通じて、脱炭素に向けた取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1：株式会社エネゲート、関電不動産開発株式会社、関電ファシリティーズ株式会社を含む4社

※2：EV充電実証パートナー企業（計8社）

- | | |
|--------------------|----------------|
| ○株式会社エイチ・ツー・オー商業開発 | ○コーナン商事株式会社 |
| ○上新電機株式会社 | ○ジョーシンサービス株式会社 |
| ○住友三井オートサービス株式会社 | ○SMAサポート株式会社 |
| ○株式会社高島屋 | ○日本郵便株式会社 |

以 上

添付資料：EV充電ネットワークサービス構築に向けた企業連携による実証実験の実施

EV充電ネットワークサービスの構築に向けた 企業連携による実証実験の実施

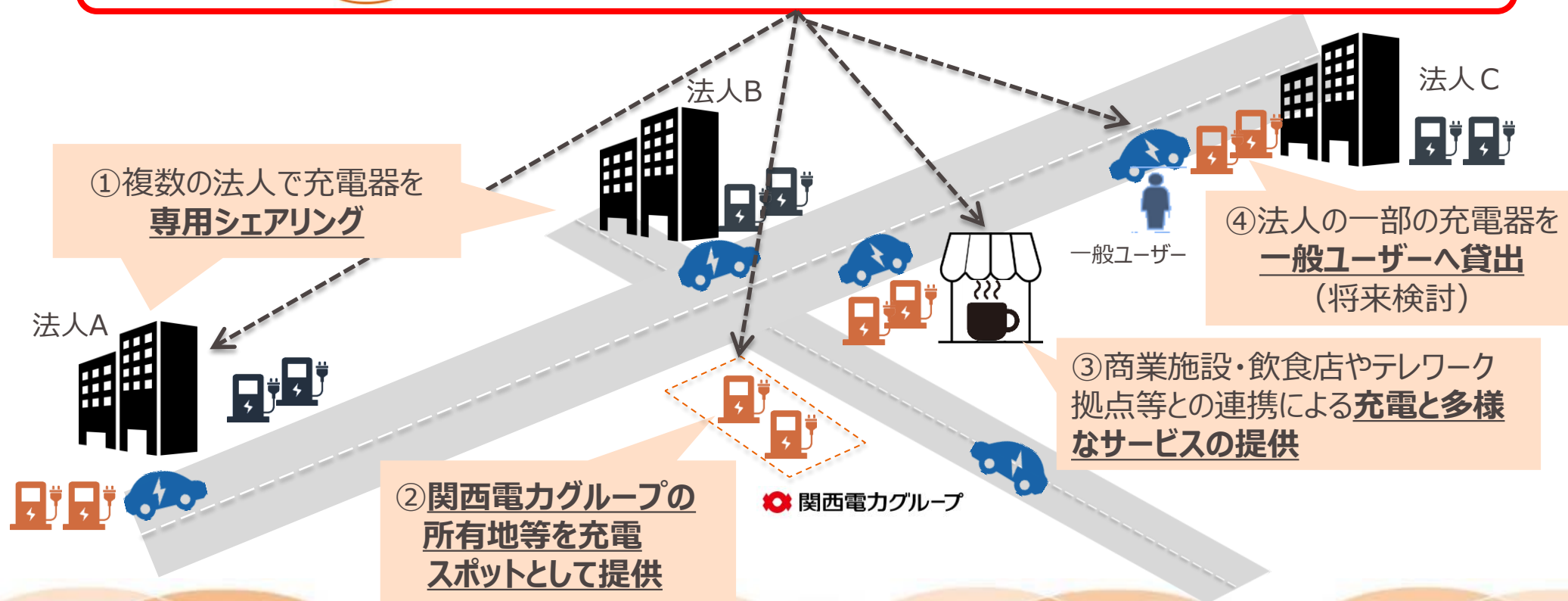
2023年2月1日

関西電力株式会社

- 当社は、法人のお客さまの持つ充電器を、法人間でEVユーザーとシェアリングすることで、新たなEV充電のネットワークを構築するとともに、それらサービスを提供するためのサービスプラットフォームを開発します。
- さらに、充電器のシェアリングサービスに加え、商業施設や飲食店等のお客さまが提供する様々なサービスと組み合わせて提供することにより、付加価値の向上を目指します。
- 将来的には法人のお客さまの一部充電スポットを一般のEVユーザーが利用できるシェアリングサービスも検討します。



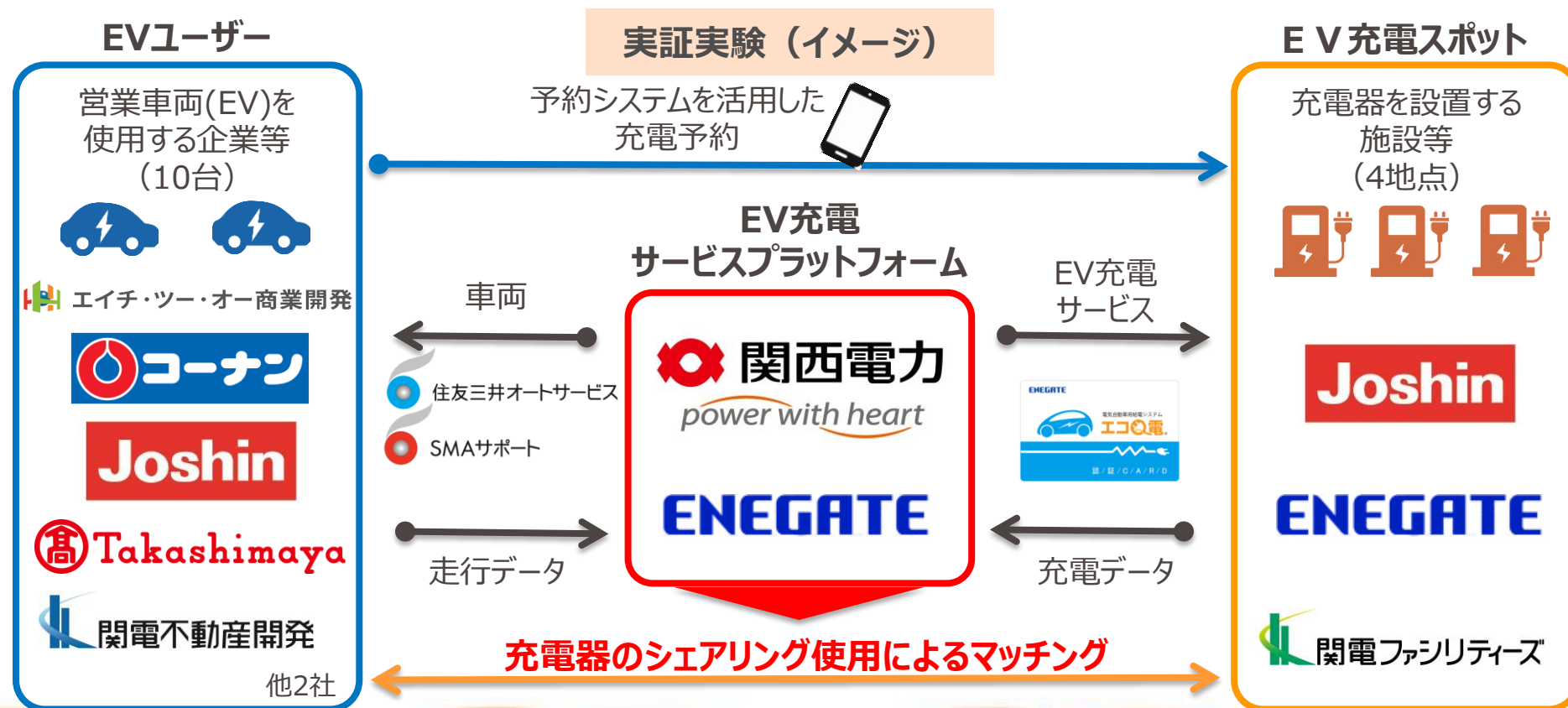
EV充電の法人向けサービスプラットフォーム提供



○本実証では、参画企業のEV充電スポットについて、既設の急速充電器および普通充電器の一部をシェアリングとして提供いただき、EVユーザーは事前予約のうえ、充電に使用します。

○実証における走行距離や充電器の稼働率等のデータ分析も行うことで、法人のお客さまのEV導入に向けた課題抽出およびEV普及の社会課題である充電インフラの充足に向けた検証を行います。

【参画企業】エイチ・ツー・オー商業開発、コーナン商事、上新電機、ジョーシンサービス、住友三井オートサービス、
(計12社) SMAサポート、高島屋、日本郵便、関西電力、エネゲート、関電不動産開発、関電ファシリティーズ



- E Vの普及拡大に向け、E Vユーザー側の充電スポット不足や充電時間の有効活用・充電インフラ整備のコスト、E V充電スポット側の充電器稼働率や充電器による集客効果の低さなどの社会課題が挙げられています。
- 当社はE V充電の法人向けサービスプラットフォーム提供により、これらの課題解決を目指します。

社会課題

E Vユーザー



- ・充電スポットが不足
- ・充電時間の有効活用が必要
- ・充電インフラ整備コストは極力抑えたい
- ・充電インフラが物理的に整備できない

E V充電スポット



- ・充電器の稼働率を高めたい
- ・充電スポットによる集客効果を高めたい
- ・充電器を活用した新たなサービスを創出したい

関西電力が目指す提供価値

■ E V充電の法人向けサービスプラットフォーム提供による課題解決

- ① シェアリングサービスによるマッチング → E Vユーザーの充電機会の創出 充電スポットの充電器の稼働率向上
- ② 弊社グループ所有地への充電インフラの整備 → E Vユーザーの充電機会の創出
- ③ 商業施設・飲食店やテレワーク拠点等の他サービスとの融合 → 充電時間の有効活用 充電スポットの集客向上
- ④ 法人の一部の充電器を一般ユーザーへ貸出 → 充電器の稼働率向上、充電スポットの集客効果

- 実証を通じて、EVユーザー側は、EV導入後の運用・充電計画の作成に加え、外部充電のみでの充電や充電器台数の適正化など、充電インフラ整備の最適化によるコストダウンが可能。
- また、EV充電スポット側は、普通充電・急速充電それぞれの使用状況を踏まえた設置計画や、シェアリング・予約サービス・店舗側サービスとの連携など、新たなサービス導入検討に向けた活用が可能。



実証における主な検証項目	実証結果の活用イメージ
○EV使用時の業務運用	○EV導入後の運用計画検討
○急速充電・普通充電の使用頻度	○EV運用時の充電計画検討
○外部充電の活用可能性	○外部充電のみによるEV運用検討 ○充電インフラ整備のコストダウン検討
○普通充電と急速充電の稼働率	○普通充電および急速充電の充電インフラ設備計画検討(収益性も評価)
○充電による電力使用状況	○エネルギーマネジメントの導入検討
○シェアリング充電の予約使用頻度	○シェアリング・予約サービスの導入検討 ○店舗サービスとの連携



普通充電・急速充電を組み合わせたEV充電ネットワークサービス検討